

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE)

ナイズ

2026 第3週（令和8年1月12日～令和8年1月18日）

【お問い合わせ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE（ナイズ）: Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

県内全域で伝染性紅斑の流行発生警報が発令されています。小児を中心に見られる疾患ですが、妊娠中または妊娠の可能性がある方が感染した場合、胎児水腫や流産のリスクとなる可能性があります。
現在、管内の定点医療機関からの報告はありませんが、手洗いや咳エチケットなどに努めましょう。

1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	50週	51週	52週	1週	2週	3週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	59.00	52.50	46.50	18.50	34.50	32.50
				指宿	69.00	65.00	98.50	75.50	36.50	53.00
				県	121.07	113.04	91.12	44.14	64.81	—
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	24.50	27.00	14.50	10.50	13.50	8.00
				指宿	21.50	44.50	81.50	66.00	10.00	25.50
				県	75.14	76.54	48.00	23.19	23.51	27.98
COVID-19	—	—	—	加世田	1.00	—	—	—	0.50	—
				指宿	0.50	1.00	0.50	2.50	0.50	—
				県	0.39	0.26	0.23	0.32	0.54	0.42
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	2.00
				県	0.94	0.68	0.74	0.74	0.65	1.45
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	1.00	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.65	0.68	0.77	0.29	0.84	0.52
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	2.00	1.00	1.00	—	—	1.00
				指宿	2.00	—	—	—	—	—
				県	2.97	2.13	2.39	1.26	2.13	3.00
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	4.00	3.00	5.00	—	3.00	6.00
				指宿	6.00	8.00	3.00	—	7.00	9.00
				県	4.32	4.16	4.65	2.03	5.74	5.74
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	1.00	1.00	2.00	—	2.00	—
				県	0.19	0.32	0.29	0.48	0.81	0.45
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.13	0.26	0.13	0.03	—	0.06
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	—	2.00	1.00	—	—	—
				指宿	—	—	1.00	—	—	—
				県	2.84	2.58	2.03	0.35	2.06	1.03
突発性発しん	—	—	—	加世田	—	1.00	1.00	—	—	—
				指宿	1.00	—	—	—	—	—
				県	0.19	0.32	0.13	0.10	0.16	0.26
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.10	0.03	—	0.03	0.03	—
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.10	0.03	—	—	0.03	0.03

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

警報 流行発生警報の基準値を超えた疾患

注意報 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

◎警報発令中

加世田保健所
指宿保健所

(なし)
(インフルエンザ)

○注意報発令中

(なし)
(なし)

2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第3週

(1月12日～1月18日)

結核：1件（指宿）

3 南薩地域で注目すべき感染症

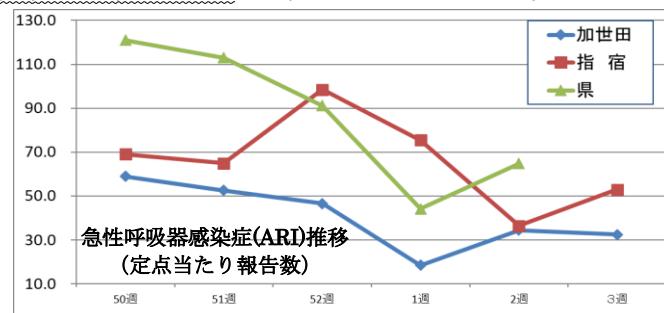
※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

急性呼吸器感染症（ARI）

第3週の報告数は、加世田保健所管内で65人（定点当たり32.50）でした。

指宿保健所管内では、106人（定点当たり53.00）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（55人）、5～9歳（41人）、10～14歳（18人）の順に多く報告されています。

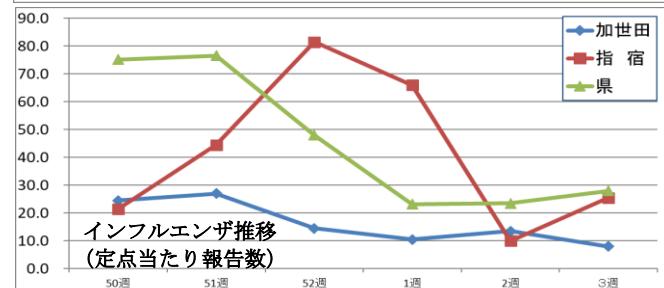


インフルエンザ

第3週の報告数は、加世田保健所管内で16人（定点当たり8.00）でした。

指宿保健所管内では、51人（定点当たり25.50）でした。

県全体では、1,595人（定点当たり27.98）でした。

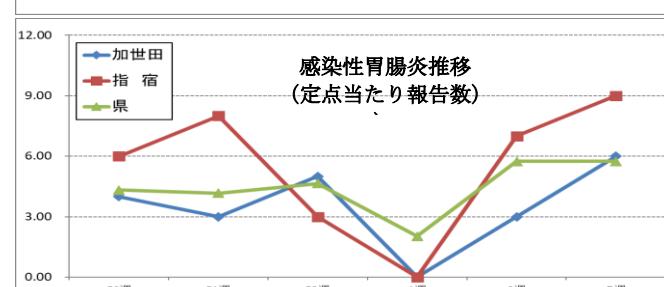


感染性胃腸炎

第3週の報告数は、加世田保健所管内で6人（定点当たり6.00）でした。

指宿保健所管内では、9人（定点当たり9.00）でした。

県全体では、178人（定点当たり5.74）でした。



今週の話題

伝染性紅斑について

第2週に県内全域にて、伝染性紅斑の警報発令がありました。今週は、標記感染症について解説していきます。

○ 概要

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とする感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気であり、両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。主な感染経路は飛沫感染や接触感染です。感染症法における、五類感染症の定点把握対象疾患に定められています。

○ 症状

潜伏期間は10日から20日程度であり、両頬の紅斑に続いて四肢に網目状やレース状の紅斑が認められます。成人では関節痛を伴う関節炎や頭痛などの症状が出ることがあります。ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。

紅斑に先行して、微熱やかぜ症状などの前駆症状が出現することがあります。この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発病したときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

妊婦が感染した場合、胎児水腫や流産・死産を起こすことがあります。

○ 予防・治療

手洗いや咳エチケットなどの飛沫予防策、接触予防策が有効です。

特異的な治療法はなく、対症療法が中心となります。

詳細については、厚生労働省HP、国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト【JIHS】をご参照ください。

